

パネル発表「石川県における学校動物飼育支援の状況と展望」

田村 兼人

石川県では、獣医師会が学校動物飼育支援事業を始め 10 年経過した。まだまだ一部の市町との契約ではあるが、確実にその効果と必要性の認識が広がってきているように思われる。今回の発表は、沿革、成果、実践、展望の 4 つの項目から石川県の現状を示したい。

石川県での学校飼育支援事業沿革

2011 年 2 月現在、石川県内では、内灘町、金沢市、かほく市の 3 市町が獣医師会との契約のもと学校飼育動物支援事業を行っている。学校獣医師制度確立を目指し獣医師が活動を始め 10 年になるが、極めてゆっくりではあるがその輪が広がってきているように思われる。

1999 年、地元開業獣医師が「学校獣医師協力案」を内灘町長宛に提出し、教育委員会への働きかけを行った。2 年間の試行期間、紆余曲折を経て、2001 年内灘町にて学校獣医師制度が発足した。同時期、金沢市教育委員会が学校飼育支援事業として獣医師会に協力を依頼し、獣医師会との契約の下、金沢市でも当事業が発足した。

この 10 年の間、石川県では地域の皆様に対し、「子どもたちの成長と動物のかかわり」に関して啓発活動も行ってきた。講演会を主として実施してきたが、毎回多数の来場者があり興味の高さがうかがえた。

学校－獣医師－PTA の連携から生まれたもの

石川県内灘町立向栗崎小学校では、四方を校舎で囲まれた中庭にチャボが飼育されている。現在は、飼育舎内は防水コンクリートが敷かれ、外へは防鳥ネットで作られた運動スペースが広がっている。

1999 年、初めて獣医師が飼育状況を確認するため訪問した時は、中庭はニワトリ、チャボ、アヒルに占領された状況で、子どもたちはもちろん教師もおいそれと中庭に入ることができない状況だった。現状と改善策を示しつつ毎年訪問し、2002 年 3 月、飼育担当教師の発案で全学年対象に「バードスクール－動物と親しみあう会－」が実施された。これまでは、むしろ怖い存在であったニワトリを抱いた子供たちは、自然に笑顔で「かわいい」、「温かい」と口にしていた。その後、飼育委員会が中心となり飼育

舎内の整理清掃が徹底されるようになり、翌年には子どもたちの活動と話を聞いた PTA の力添えで飼育環境の改修がなされた。現在、飼育動物委員会は最も人気の高い委員会として確固たる地位を確立している。

鳥インフルエンザが問題視される中、学校獣医師の存在が保護者に安心感をあたえ、飼育動物に対する疑念やクレームはほとんど聞かれないという。

学校に獣医師が入り、相互協力がなされ、その結果、子どもたちの飼育動物への優しさ慈しみが発展し、それが保護者へと広がった一例である。

飼育動物とのふれあい授業

石川県かほく市において、2010 年 10 月より飼育動物支援事業が獣医師会との契約のもとスタートした。最初に行ったのが「飼育動物とのふれあい授業」である。

場所は、かほく市立外日角小学校で、2 年生 76 名を対象として実施した。参加獣医師は、獣医師会開業部会の学校飼育動物対策委員会のメンバー 8 名である。

[導入] ウサギの心音を聞いてもらい人と同じように生きている証拠を確認してもらった。その後、紙芝居を通してうさぎと子供たちの心のつながりを身近なものとして感じてもらった。
[ふれあい] 8 グループに分かれてもらい各グループに獣医師 1 人が付き、抱き方、聴診器を使っての心音聴取、いろいろな疑問等への回答を行った。

[ふりかえり] 子供たちの素直な気持ちが沢山の笑顔とともに、文章や絵に現れていた。

ふれあい授業は、普段は飼育舎内で生活し、子供たちからは距離のある存在の飼育動物に直接触れることで、命が温かいものと感じてもらおうことを目的としている。そこからさらに新たな発見、疑問が生まれ、それが今回のテーマでもある知の創造へとつながるものと確信している。

これからの展望

[内灘町教育委員会の取り組み]

内灘町では、平成 23 年度教育委員会事業「豊かな心をはぐくむための取り組み」の中に、「飼

育動物とのふれあい授業」を組み入れることとなった。対象は、2年生以上1学年全員で町内5校全で実施される予定。

[石川県獣医師会開業部会学校飼育委員会では]

本年4月より施行される新学習指導要領を見据えて、他市町からの学校飼育動物支援体制に関する要望が増加する可能性が示唆される。これに対し、下記の通り委員会内で意見の統一を行っている。

(1) 行政または学校からの問い合わせに対する窓口の1本化

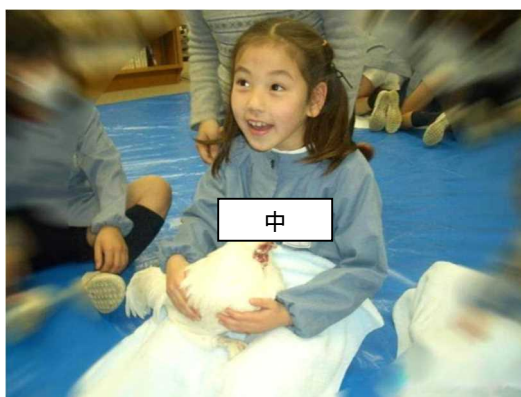
(2) 地域開業獣医師との連携

(3) 獣医師不足地域へのサポート体制の確立

(4) 遠隔地、単発的飼育動物指導依頼への対応としてのキャラバン隊派遣

今後、石川県獣医師会として、地域社会への情報発信、教職員への研修会の実施、教育委員会・学校への働きかけなど、これまで10年間の実績に基づいた学校飼育動物支援事業のさらなる発展・展開が期待される。

(石川県獣医師会)



6、行政からの受託状況		7、参加獣医師数			8、行政の対応部局	9、行政以外の実施主体	11、新規活動予定	12、学校獣医師の指名・委託状況	13、契約書・実施要領の有無		
契約初年度	金額	参加	会員数	開業数				人数	契約書	実施要領	
					教育						
		8	110	35	教育	地方会主導			無	無	
		56	421	150			学校飼育動物モデル学校支援事業 予算10万円				
					教育(指導)	地方会独自		獣医師会	56	無	無
		60	355	88	教育(指導)・学校	地方会独自				無	有
		86	529	235	教育(指導)	地方会独自		その他	86	無	有
1	2,353,250	70	689	271	教育・保健福祉	獣医師個別	従来どおり	行政	48	有	有
11	40,000～ 340,000	93	563	209	教育(指導)・学校		宇都宮市内の生活科及び総合科 担当の小学校教諭を対象に講師を 招いて学校飼育動物に関する講話 を行う。	その他	46	無	無
10	8334000 (別途500 万円を地 方会が負 担)	142	538	232	動物愛護		モルモット・ウサギ(ホーランドロップ) の教室飼育管理指導連携事 業(県教育委員会義務教育課と県 獣医師会連携事業)	行政	142	有	有
支部で 異なる	4,452,000	181	232	232							
15	0	85	716	229	教育(指導)	獣医師個別	県獣としては、学校飼育動物巡回 指導事業としてその実績に応じた 助成をしているが、支部によりまた 市町村教育委員会により対応内容 が大きく異なるため、助成金の配分 について検討の余地が生じている。 そのため、事業の方向性を再度検 討するため、会員に対しアンケート 調査を行い、集計結果をもとに全市 町村教育委員会担当者との意見交換 会を予定している			無	無
15	250,000	23	183	65	その他			獣医師会	23		
22	999,600	250	432	250	教育(指導)						
8	950,000	15	59	59	教育(指導)					有	
	8,300,000 (支部市 区町村合 計・治療 費実費以 外)	517	1300	470	教育(指導)(学 務)・家畜衛生		支部員に「ふれあい教室実践法の DVD」を配布する			支部 は有 (都 と本 部は な	有
							地域別に公開講座の開催「学校飼 育動物県央地区公開講座」	獣医師会	61	有	有
					教育(指導)		7月上旬学校動物飼育担当教諭対 象研修会 9月上旬小動物臨床部 会会員対象研修会				
	1,400,000	23	27	27	教育	地方会主導		獣医師会	23	有	有
		23	139	34	教育(指導)	地方会独自	獣医師会員が講師として小学校生 活科研修講座を受け持つ				
		165	639	165	家畜衛生	地方会主導	学校飼育動物に関する獣医師向け 研修会			無	有
	4,354,000									有	無
							啓発ポスター等の作成と配布	獣医師会	101	無	無
		37	933	461	教育(指導)	地方会独自					
						地方会独自	定期的飼育小屋訪問、教員研修、 児童動物ふれあい事業、傷病飼育	獣医師会	30	検討 中	検討 中

獣医師会	1、実施	2、委員会	3、実施地域	4、実施内容			5、実施施設数							
				ア:相談窓口の設置、イ:無料・実費診療、ウ:全施設への定期訪問、エ:希望施設への訪問、オ:授業協力、カ:ふれあい教室、キ:教員研修、ク:獣医師研修会、ケ:施設、衛生管理	内容	事業名	開始年度	実施年度	対象小	管内小	実施園	対象園	管内園	
三重県	○	×	管内全域・市町村	ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク	学校飼育動物事業	13								
滋賀県	○	○	11 管内全域・市町村	ア、イ、エ、オ、カ、キ、ク、コ	学校飼育動物事業委員会	13	6		230	4			180	
京都府	○	○	市町村	ア、イ、ウ、キ	学校飼育動物医受託事業		22	22	22					
大阪府	○	○	9 管内全域	ア、イ、オ、キ、ク	大阪府教育委員会との連携による飼育環境の改善	18								
兵庫県	○	○	9 市町村			13								
奈良県	○	○	25 管内全域	ア、イ、エ、オ、カ	学校飼育動物支援事業	16	70		200	5				
和歌山県	○	○	管内全域	ア、エ	動物由来感染症(教育現場型)整備事業	14	15							
京都市	○	○	4 管内全域	ア、イ、エ、オ、カ、キ、ク、コ	学校飼育動物対策事業	10	100	186	186	10	18		18	
大阪市	大阪市の「大阪市動物愛護推進協議会」に会員獣医師を2年に1度(H21.4.1～H23.3.31は21名)推薦し、推薦された獣医師は大阪市。													
神戸市	○	○	5 管内全域	イ、エ、オ、カ、キ	学校飼育動物訪問指導事業	14	5	5	171					
鳥取県	検討中	×												
島根県	×	×												
岡山県	○	○	6 管内全域	ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク	学校飼育動物サポート事業	13	10		431	10			338	
広島県	○	○	管内全域	オ、カ、キ	命の大切さ対応推進事業	21								
山口県	○	×												
徳島県	○	○	7 管内全域	イ、エ、オ	学校飼育動物サポート事業	16	11	11		2	2			
香川県	×	×												
愛媛県	○	×	市町村											
高知県	×	×												
福岡県	○	○	8 管内全域・市町村	ア、イ、エ、オ、カ、キ、ク		10	10	486	486					
福岡市	○	○	11 管内全域	ア、イ、エ、オ、カ、キ、ク	市立小学校、幼稚園で飼育する小動物の診療および飼育指導	7		146	146		9		9	
佐賀県	○	○	10 管内全域	ア、イ、エ、カ、キ、ク、ケ	学校飼育動物に関する支援 学校飼育動物を通じた教育の推進	19	5	200	200					
長崎県	○	○	9 管内全域	カ、キ	動物介在活動対策	16								
熊本県	○	○	8 決まってない	エ、カ、キ、ケ	動物由来感染症監視体制整備事業	12	5	5	21					
大分県	×	×												
宮崎県	○	○	9 管内全域	コ	学校飼育動物の状況調査(アンケート)	21								
鹿児島県	○	○	管内全域・市町村	イ、キ	学校飼育動物適正飼養管理	18	75	597						
沖縄県	○	○	7 決まってない	ア、エ、オ、カ、キ、ク	学校飼育動物支援事業	15	9		280	1			278	
北九州市	○	○	10 管内全域	ア、イ、カ、キ、ク	学校飼育動物支援事業	15	33		105	3			8	

7、参加獣医師数			8、行政の対応部局	9、行政以外の実施主体	11、新規活動予定	12、学校獣医師の指名・委託状況	13、契約書・実施要領の有無	
参加	会員数	開業数				人数	契約書	実施要領
38	335	143	教育	地方会と行政が協力				
70	327	83	家畜衛生・学校	地方会独自・獣医師個別	滋賀県獣医師会通常総会(H. 22. 5. 30)での講演会「学校・園での動物飼育と滋賀の取り組み」・学校飼育動物事業の考え方と滋賀県の取り組み・大津市の取り組み		有	
34	342	17	教育				有	
160	730	320	教育(指導)	地方会と行政が協力			無	無
25	260	100	家畜衛生	地方会独自				有
35	199	60	家畜衛生	地方会独自・獣医師	学校飼育動物委員会を立ち上げたので、具体的な活動は今後委員会で検討していく		無	無
40	132	81	教育(指導)(学務)・学校	地方会主導	行政からの診療費補助		検討中	
			として委託されている。					
10	127	97	動物愛護	地方会主導	昨年までは教育委員会より推薦されたモデル校のみの活動であったが、それ以外の小学校に対しても、指導等の依頼があれば獣医師を派遣することとした。		無	無
20	600	137	教育(指導)・家畜衛生	地方会独自・獣医師	平成21年度から本会独自の予算対応であるため、県からの実施要領に縛られずに診療費の一部負担、表彰行事等の新企画を実施中である。	獣医師会	20	有
12	719	169		地方会独自・獣医師	地方公共団体(教育委員会)等との連携強化を図る。学校飼育動物のサポート体制を構築する。関係機材等の提供。		無	無
					①獣医師を対象とした研修②学校教職員を含む一般市民公開講座による研修	獣医師会		
23	278	55	教育	地方会独自				有
			教育				有	
73	651	206	教育(指導)	地方会と行政が協力		獣医師会	73	
57	57	57	教育(指導)				有	有
20	250	30	教育(指導)	地方会独自				
			教育	地方会と行政が協力			無	無
10	450	202	家畜衛生	行政主導				
9			教育	地方会独自	教員研修会実施検討中		無	
30	48	48	教育(指導)	地方会主導	昨年同様の研修会を開催予定		検討中	
8	355	62	動物愛護	獣医師個別			無	無
44	83	44	教育(指導)	地方会主導	「北九州市小学校・園動物飼育シンポジウム」目的:学校飼育動物への理解を深め本市の学校・園における動物飼育の円滑な運営に資する対象:市内の幼稚園小学校教諭講師:田村学先生 中川美穂子先		検討	有